

科目名	作業療法評価学実習Ⅲ				授業の種類	実習	講師名	
授業回数	23 回	時間数	45 時間	1 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	2年 前期

【授業の目的・ねらい】

測定検査方法を学ぶ。

身体障害領域での各疾患において疾患特有の測定・検査や機能評価を学ぶ。

【実務者経験】

・作業療法士として回復期リハビリテーション病院、介護老人保健施設等にて、身体障害領域及び老年期領域のリハビリテーションに従事経験。

・作業療法士として回復期リハビリテーション病院にて身体障害領域の幅広いリハビリテーションに従事経験。

【授業全体の内容の概要】

作業療法における測定検査方法を実践する。

疾患特有の測定・検査や機能評価を体験する。

【授業終了時の達成課題（到達目標）】

疾患の概要と、疾患特有の測定・検査や機能評価を挙げ、説明することができる。

回数	講義内容	準備物(教材)
1	オリエンテーション、脳血管障害・頭部外傷の概略、脳血管障害・頭部外傷の作業療法評価（リハビリテーション評価を含む）	教科書
2	脳血管障害・頭部外傷の作業療法評価（リハビリテーション評価を含む）	教科書
3	脊髄損傷の概略、脊髄損傷の作業療法評価（リハビリテーション評価を含む）	教科書
4	脊髄損傷の作業療法評価（リハビリテーション評価を含む）	教科書
5	関節リウマチの概略、関節リウマチの作業療法評価（リハビリテーション評価を含む）	教科書
6	関節リウマチの作業療法評価（リハビリテーション評価を含む）	教科書
7	摂食・嚥下障害の概略、摂食嚥下障害の作業療法評価（リハビリテーション評価を含む）	教科書
8	摂食嚥下障害の作業療法評価（リハビリテーション評価を含む）	教科書
9	パーキンソン病の概略、パーキンソン病の作業療法評価（リハビリテーション評価を含む）	教科書
10	パーキンソン病の作業療法評価（リハビリテーション評価を含む）	教科書
11	内部障害の概略、内部障害の作業療法評価（リハビリテーション評価を含む）	教科書
12	内部障害の作業療法評価（リハビリテーション評価を含む）	教科書
13	末梢神経障害の概略、末梢神経障害の作業療法評価（リハビリテーション評価を含む）	教科書
14	末梢神経障害の作業療法評価（リハビリテーション評価を含む）	教科書
15	OSCE 1 運動失調検査	教科書
16	OSCE 1 運動失調検査	教科書
17	OSCE 2 Brunnstrom Recovery Stage (上肢) ①	教科書
18	OSCE 2 Brunnstrom Recovery Stage (上肢) ②	教科書
19	OSCE 2 Brunnstrom Recovery Stage (上肢) ③	教科書
20	OSCE 3 反射検査	教科書
21	OSCE 3 反射検査	教科書
22	OSCE 4 感覚検査	教科書
23	OSCE 4 感覚検査	教科書
	定期筆記試験	

【使用教科書・教材・参考書】

標準作業療法学 作業療法評価学3版 能登真一 (医学書院)

PT・OTのための臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・検査測定編 第2版補訂版 (金原出版)

【準備学習・時間外学習】

当日授業の振り返りのため資料や教科書を確認する。

【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】

試験の結果を100点満点として成績を評価する。

試験は実技試験を50点、OSCEを50点として合計100点とする。

60点以上の場合は科目を認定する。

